

平成30年度 第1学期始業式（平成30年4月9日）

「人は節目で成長する」と言います。人生を竹の成長に置き換えての言葉です。今日は平成30年度の始まりの日、一つの節目となる日です。と言っても、ただ節目だから伸びるわけではない。節目に当たって何か目標を立て、よしこれを頑張るぞという決意をする。そしてその目標に向かって必死に頑張る。頑張ることで自信がついて成長する。だから大切なのは、自ら意識してこういう節目を作ることです。

有名な歴史学者の言葉に「振り返れば未来」という言葉があります。振り返るのは過去であり、過去から反省すべき点や素晴らしかった点などをきちんと学べば、未来をどう作っていけばいいのかが、見えてくるという意味です。

自分の目標を明確にし自らの成長のための節目を作るために、改めて皆さんが本校ですごした1年または2年の自分の行動を振り返ってほしいということです。南高生として、真摯に誠実に勉強や部活に取り組めたか、常に積極的にチャレンジそしてクリエイティブの姿勢を持てたか、周囲と認め合い高め合う切磋琢磨の関係で過ごせたかなどについて振り返り、今後未来に向かってどのような努力をなすべきかを考えてみてほしい。過去の自分から「将来なりたい自分」すなわち目標が見えてきます。そしてそれに向かって本気で頑張ってもらいたいと思います。

もう一つは、現在君たちが学んでいる勉強は、基本的には、「すでに誰かが考えたこと」、「もうすでに起こったこと」、「すでに解明された理論」などです。このことは君たちの学習のどの教科にも言えることだし、部活動でも同じことだと思います。ではなぜ学ぶのか。「振り返れば未来」だからです。長い人類の歴史の中で蓄積してきたことを学ぶことによって、様々なことに私たちは、気づき、考え、行動できます。また、その知識などを基礎にして「新しい理論」や「新しい技術」などを作り出すことが可能になってきます。ぜひとも「勉強とは過去を学ぶことによって、未来を創り出すものだ」という視点を大切にして学びを継続してほしいと思います。

未来といえば、君たちが社会の中核で活躍する今後の社会は、知識・情報・技術をめぐる変化の速さが加速度的になり、情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて進展するようになります。だから常に新しい未知の課題に試行錯誤しながらの対応が求められる。そして、すべての人材が、それぞれの持ち場で知識を基盤とし、持てる限りの能力を生かす、全員参加の共助共生が求められる社会であるといわれています。よって君たちに求められるのは、すばらしい未来を創り出すために、学びを継続し、自分や周囲、社会の抱える問題に対して、様々な他者と協働して解決に向かう姿勢であり、備えるべき資質としては、主体性や創造性、協調性やタフネスさが重要であると考えています。このような姿勢や資質を南高の3年間で培ってほしいと願っています。

私も校長として、過去を振り返り、原点に回帰して、南高創立時に制定された校訓「質実剛健」「創造進取」「和敬共栄」を読み直すことによって、57年前の創立時の思いに触れることは、新鮮な気持ちにもなり、前に進む勇気をもたらしています。

そして今、校訓の意義は色あせることなく、これまで以上に南高教育の未来を考える上での重要な理念や指針を示してくれていると考えています。「育てる生徒像」を明確にし、本校をより魅力と特色ある学校にするために努力することが、節目に当たっての私の目標です。

先日開かれた職員会議において、私は、先生方に大切にしてほしいこと3点お願いしました。1点目は、「チーム南」の意識です。教職員と生徒の皆さんはチーム南です。共通の目的を掲げ、コミュニケーションをとりながら、ともに歩いていくということです。2点目は、皆さんの個性と多様性を尊重し、言葉を大切に丁寧に皆さんと向き合うということです。「木は光、人は言葉を浴びて育つ」。人は言葉によって刺激を受け喜びを得る。それが成長の原動力となるが、言葉によって傷つきもします。互いにいい言葉、正しい言葉を丹念に紡ぎましょう。3点目は、皆さんも知っているように、先生方は君たちの成長を糧に昼夜を問わず、休日にもかかわらず働いています。だから休める時はしっかり休み、メリハリのある仕事をしましょうとお願いしました。先生方の明るさと元気が皆さんの夢実現のための質の高い教育につながると思っています。以上、チーム南の一員である生徒の皆さんにも知っておいてほしいと思いお話ししました。

新年度という節目、少し長い話になりました。でもきちんと聞いてくれてありがとう。明日は入学式、新入生を温かく迎えましょう。そしてみんなで一緒に、明るく元気に伸びる一年にしましょう。頑張りましょう。

以上で終わります。